

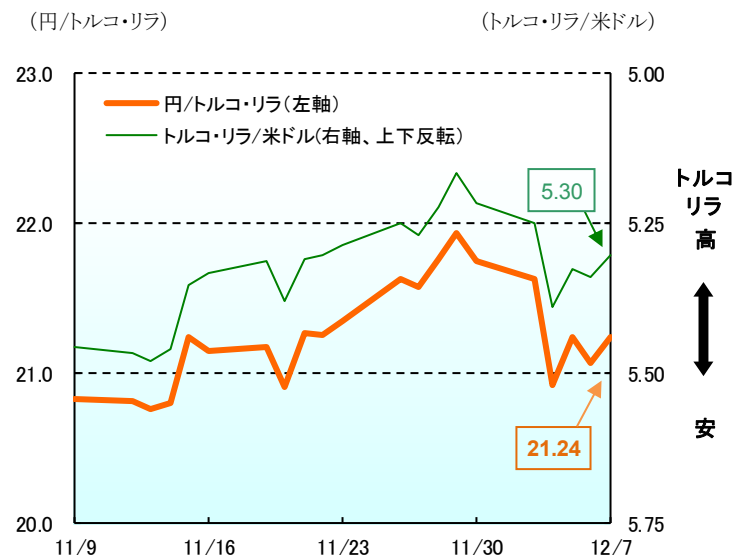
【2018年12月1日～2018年12月7日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利はほぼ横ばいでした。

11月の消費者物価指数の前年比は前月から鈍化し、市場予想も下回りました。トルコ・リラは米中関係の悪化懸念とそれを受けた米国株の急落などから、リスク回避的な動きとなり、対米ドル・対円ともに下落しました。国債金利の変動幅は限定的でした。

【トルコ・リラ 為替推移】(2018年11月9日～2018年12月7日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は13日(現地)にトルコ中央銀行の政策金利が発表される予定です。市場では現状維持との予想が優勢で、当社も政策金利は据え置かれるとみています。

トルコ市場は、内需の鈍化や政府の価格統制によるインフレ抑制効果を確認する局面が続きそうです。足元の原油価格の下落はトルコ・リラのサポート要因となっていますが、目先は米中対立の再度の激化およびそれに伴う市場のリスクセンチメントの悪化に留意する必要があると考えています。

【トルコ 金利推移】 (2018年11月9日～2018年12月7日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>